

# やまきあやこ

事務所 350-1137

自宅 350-1137

川越市砂新田4-4-6 サングリーン高階

川越市砂新田5-27-9

TEL・FAX 049-249-3306

TEL・FAX 049-242-3543

e-mail a-yamaki.11-26@nifty.com

URL <http://www.yamaki-ayako.com>



川越市議会議員

## 川越市議会 100 年の歩み

川越市議会は、令和 5 年 3 月で 100 周年を迎える。100 年で 25 期の議会の記録を整



理しまとめて残します。

昨年までは議会に残っている資料をデータ化しました。

昨年、川越市議会初のプロポーザルを実施して、

100 周年記念誌の委託業者が「ぎょうせい」に決定され、今後業者と共に作り上げていく記念誌に対して編集委員会の意見をまとめて

年半かけて編集作業を進め 10 月には、再校が終わりました。表紙も決めました。

議場内の絨毯のブルーと一緒に持たせた、背景に、リノベーションされた議場が写っているものにしました。裏表紙には議場への扉が少し開いている写真を使いました。少し開いた扉から、101 年、110 年、120 年の未来に繋がっていく明日を表現しました。



後は、念校と納品を待つばかりです。

## 川越まつり

市制施行 100 周年の川越市は、3 年ぶりに川越祭りを開催いたしました。

毎年祭りの時には、友好姉妹都市である、福井県小浜

市・福島県の棚倉町・北海道中札内村の 3 市町村の皆さんのが川越に来ていただきます。例年ですと夕食頂きながら、交流を図るので



が、コロナ禍とう事ランチで交流を図りました。北海道の中札内村からは、おおくの村民の女性が訪問して頂きました。



## 神幸祭

氷川の神様が神輿に乗って地域を回ります。その神輿に町内の山車が後に続いて町内を回ります。その途中でお城にも上がったそうです。今は、お城に上がる代わりに、市役所へ寄って、ご挨拶を頂きます。手古舞も昔は芸者さんが露払いの役をしたそうです



# 文化常任委員会視察

文化常任委員会の行政視察に、かほく市・鯖江市・加賀市と2泊3日で参加しました。コロナ禍においてすべての行政視察が中止となっていました。文化教育常任委員会になって、初めての視察です。いずれの市の調査項目についても来年度以降川越市が、本格実施を考えている問題です。

かほく市

一日目

## ～かほく市コミュニティースクール～

教育委員会の学校現場と市長部局の生涯学習課が上手にタックが組めている所に、この事業の成功が見えたような気がしました。

川越市に比べると、全体の学校数は少ないかほく市ですが、コミュニティースクールへの取り組みは平成27年度と早かったようです。

当時の教育長がいち早く国の方向性を察知し政策として、市長に進言したそうです。

また視察を受入、説明して頂いた職員がキーマンになったようです。

学校現場を経験し、社会教育を経験し、再び校長として教育現場に戻り、退職後にこの事業のコーディネーターとして戻り、事業に携わっていました。

今では、総合型地域スポーツクラブが、幾つもできていました。



鯖江市

二日目

## ～鯖江市部活動の地域への移行～

教員の多忙化が問題となっています

生徒の減少に伴い、教職員も減少しています。それに伴い、部活動の顧問も減少しています。



また部活動の問題としては、学校によっては、生徒の人数の減少により、一つ

の学校でチームの人数が足らずに、練習試合や公式戦に出場できない学校が増えています。そ

んな中で、先進的取り組みをしている鯖江市に伺って調査させていただきました。

土・日の部活動の指導を地域の人に、担って貰おうと言う事です。

登録制度を取ったところ、多くの有志が登録して下さったそうです。中には教員免許を持つ者や、部活のOBの方々等が、もちろん、部活の顧問の先生もいらしたそうです。

顧問と市民指導者が同じ方向を見て、指導する話し合いも何回も持たれたそうです。

担当者は、次は文化部にも派生させていきたいと、力強く語っていました。

## ～鯖江しSDGs推進センター&めがねミュージアム～

### 鯖江市SDGs推進センター

「住んでよかった、住み続けてよかった」と思えるような街を目指していました。

『誰一人取り残さない』と言った、SDGsの理念を基に、50年後、100年後の鯖江市を見据えた取り組みです。

SDGsの17項目達成に向けて、市民一人ひとりが、自分のこととして取り組むことにて、持続可能な社会の実現に挑戦していました。



訪問した時は、大学生に講演会が開かれていました。学生たちは、講師の方の、

英語でのスピーチに熱心に耳を傾けていました。

### めがねミュージアム

鯖江氏は“めがねに町”と言われるくらい国内シェア90%の町です。

江戸時代から現在に至るまでのめがねの歴史に関する資料がたくさん展示されていました。

最近、物がダブって見えたり、車のヘッドライトの明かりがまぶしかったりと乱視気味なので検眼してめがねを作ろうと思いました。いろいろ検査をしましたが、度数が出ないと言う事で、眼科医の受診を進められました。

## ～加賀市のプログラミング教育～

加賀市のプログラミング教育の真の目的は、コンピューターを上手に活用して身近な問題を解決したり、よりよい社会を築いたりしようとする態度を育むと言う事のようです。



### STEAM 教育とは

S : 実績・フィールドワーク・数理的思考  
 T : プログラミング  
 E : 工作・制作  
 A : 自分のイメージや考え方を言語化し、表現する・伝える力  
 M : 統計・論理的思考  
 の 5 分野からなる考え方や方法です。

### プログラミング思考を育てる教育

小学校 4 年生から中学校 3 年で今までの 6 年間で、プログラミング的思考を使

て、世界で活躍できる人材を育て、排出していきたいとのことです。  
 将来的には、加賀市に戻ってきていただき、「加賀市のまちづくり」に貢献できる人材を育てていただきたいと担当者は、早くも世界に飛び出す子供たちに夢をはせていました。



### 視察の受け入れ

に視察の受け入れをお願いしたところ、加賀市内の山中温泉、山代温泉等への宿泊が条件として出されました。

市役所の周りや、駅前に便利なホテルがあるに、加賀市を訪れる他市の視察に対して条件を付け長引くコロナ禍で、疲弊した温泉旅館へ産業振興を図っている様でした。

### 農業委員会

農業委員会の月例の総会後、市内で野菜を栽培している農家の皆さんと懇談会を開きました。懇談の中身は多くが要望でした。農業委員会で解決できるもの、国・県に対する要望等、様々なものが寄せられました。要望は整理して、フィードバックできたらと思いました。



### 見事な大勝利

川越ボーイズが令和 4 年 8 月 11 日 (木)



から 14 日にかけて開催された「第 47 回日本少年野球 関東大会 小学生の部」においてリーグさんを制し優

勝したことから市長を表敬訪問しました。

市長から激励の言葉をいただき、選手の皆さんには今後の活動について、全国大会出場を目指すと、日々に話していました。

### 川越市議会倫理条例策定会議

3 年前、代表者で組織された川越市議会倫理条例策定会議が 32 回目を迎えました。後は、パブリックコメントを頂くだけです。会派の意見をまとめるのはとても大変なことだったと思います。



### 川越市災害対策支援会議

川越市が災害時に行う情報伝達があります。過日その訓練が行われてので、議会からも正副議長と災害対策支援会議の正副委員長で参加しました。



災害時は、極力混乱を避けるため議員提供する情報は、議会事務局に 1 本化する事とします。

# 全国都市問題会議

コロナ禍で3年ぶりに開かれた全国都市問題会議に参加しました。

10月12日から13日まで、全国都市問題会議が、長崎県の出島メッセで開催されました。基調講演はジャパネットホールディングスのCEO高田旭人氏。ジャパネットと言うと、通販会社と思っていたが、目からうろこでした。長崎市にあって、地方創生に力を入れて、2024年完成の長崎スタジアムプロジェクトは長崎市を元気にする、正に、地方創生を民間企業が実施しているそのものでした。高田氏は自社の社名が「ジャパネット」とあるように、長崎市だけでなく、日本全国に展開していきたい」と、若きCEOの野望はその先を見据えていました。



研修会で報告のあった、鍋冠山と稻佐山の夜景は以前伺った時より大きく変わっていました。鍋冠山は階段だらけだったところがスロープになり、歩きながら見る夜景は大きく前にせり出したスロープにより、展望が広がっていました。稻佐山山頂にあった電波塔がきれいにライトアップしていました。季節によって色が変わるというライトアップは、秋色のオレンジでした。

## コロナに罹患して ホテル療養しました

### 9月6日 入所

前夜から少し寒気がして、熱があるようを感じた。抗体検査キットで検査したら、陽性とされました。三井医院の駐車場で検査をしたら、陽性と判断されました。今日から自宅待機です。

### 9月8日

保健所から電話があり、パルスオキシメーターが自宅に送られてきました。ホテルでの隔離を希望し、空きの確認をしました。新座のパーシモンホテルの空きが確認でき、明日の午後、入所が決まりました。体温 38度1分



### 9月9日

午後から、介護タクシーが迎えに来て、パーシモンホテルに入所しました。途中2名の陽性患者と一緒にになりました。ホテルに着くと、地下に通され、入所中の注意事項について説明を受け、部屋に案内されました。部屋に入ってから今服用している薬について看護師さんが来て写真を撮りました。明日、先生からオンライン診療があることを知らされた。食事は三食お弁当が提供されました。また、廊下には水、お茶、ポカリスエット、野菜ジュース等の飲み物やトペーパーやスプーン、割りばし、洗濯石鹼等の、生活用品が用意してありました。が、廊下に用意されていました。体温 37度1分



9月10日  
10時に医師からオンラインでの診察を受けました。食事（お弁当）の提供は、三食お弁当が提供されました。食事の時間になると、館内放送がされます。「食事の用意ができました。皆さんお部屋に入ってお待ちください。」ドアノブにお弁当が掛けられます。次に「昼食の用意ができました。早急にお弁当をお取りください」と館内放送があります。朝、昼、晩と繰り返されます。体温 36度7分

### 9月12日

昨日あたりから体温が36度7分と平熱になってきています。今日の夜と明日の朝熱が上がらなければ、明日、退所してもいいとの事でした。

### 9月13日

#### 9時5分 還所

朝、熱を測って36度7分と確認されると、9時5分に退所していいと言う事で、家族の迎で、退所しました。この日は9時に退所した人が1人いました。顔を合わせることは、ありませんでした。

3泊4日で滞在している間、会った人は、入所の時に2人の看護師さん、部屋に1度来た看護師さん。退所の時に見送ってくれた看護師さん。と、3度4人の看護師さん以外、には誰にも、会いませんでした。対処の時には診察も、抗原検査もせずに退所となりました。自宅に戻り、抗原検査キットで検査をしたところ、陽性と出ました。

その後毎日検査をしたところ、2日目に陰性が確認されました。陽性と確認されてから、9日目となります。体温 36度7分